**株式会社 ファルマ**
弘前市北横町 19−1
Tel 0172-37-6016(代)
発行：編集委員会
印刷：小 野 印 刷
■ 第 197 号 ■

## 2025年ファルマ花見の会開催!!

４月26日（土）５年ぶりにファルマ花見の会を開催いたしました。弘前公園内の広場で開催予定でしたが、当日は大雨のため急遽本社会議室へ場所を変更しました。新入職員に関するクイズやバルーンアートなど楽しい企画を用意し、美味しい食事とともに交流を楽しみました。その様子を写真でご紹介いたします♪

## 経営改善に向けて意思統一を図る

技術部長・藤代薬局薬局長　木村　匡宏

５月１日（木）に本社会議室で２０２５年度上半期管理者合宿（集中討議）が開催されました。「法人設立以来の経営危機にどう立ち向かい、経営改善を進めるか」というテーマで行われ、冒頭で崎野代表取締役から２０２４年度の仮決算と２０２５年度予算についての説明がありました。

２０２４年度の経営は前年度比で受付処方箋数・事業収益共に大幅に減少、２０２５年度の予算では薬価の引き下げや予想される外的要因を受け、さらなる収益減となる可能性が高く黒字予算を作成することは難しいことが報告されました。

経営改善のための事業計画や各部門の到達点・問題意識の提案や各薬局のＰＤＣＡサイクルの報告を受け２０２５年度、各薬局が具体的に何をするかといった意思表示が各薬局長からされ、それに対する意見交換が行われました。

最後には津軽保健生協の村上専務にお越しいただき、津軽保健生協の経営状況、事業計画についても説明いただきましたが、同じく経営の厳しさをお聞きし、地域医療の要となっている医科法人においても、そのような状況になっている矛盾を感じました。背景にはこの間の医療報酬削減や物価高騰があります。私たちはいのちと暮らしを守るたたかいを強めていく必要があると考えさせられました。

終了後も参加者でお弁当を食べながら、今後の人事構想や個別課題についてざっくばらんな意見交換を行うことができ、やらなければならないことがたくさんあることや、困難が伴うこともわかりましたが、１人ではなくみんなで力を合わせて真摯に取り組んでいくことが確認できた有意義な時間でした。

経営改善について協議中

# 現行の保険証を残す必要性

本部　課長補佐　水木　孝之

4月19日（土）に開催された荻原博子さんの講演「現行の保険証を残そう！」に参加しました。マイナ保険証の問題点や紙の保険証を残す必要性について、生活者目線で分かりやすく語られており、高齢者や制度に不安を感じている方にとって非常に有益な内容だったと感じました。私自身、窓口業務の現場でマイナ保険証の実務に関わっていたこともあり、講演で取り上げられた内容の多くは認識していましたが、一方で「制度を知らされずに使わされる」側への配慮が必要なことが強く印象として残りました。

また、NISAやiDeCoなど投資に関する話題にも触れられ、国が老後の備えを自己責任に委ねる姿勢への疑問も投げかけられました。制度に詳しくない方にも理解できる語り口で、広く一般の方に届く内容だったと思います。現場としても、制度の浸透と丁寧な説明の両立が求められていると感じました。

講師の荻原博子氏

# 患者様に深く関わり、充実した実務実習

青森大学　5年生　小山内（おさない）　颯香（ふうか）

ファルマ弘前薬局で実習をして多くのことを経験し学習しましたが、特に服薬指導前の準備で薬歴の確認を行うことの重要性を学びました。

実習の前半の服薬指導の際には緊張もあったとは思いますが、薬効と用法用量・副作用の説明で手一杯で、以前から患者様の容体がどのように変化したかまでは考えられていませんでした。

実習期間中、服薬指導前に必ず前回の薬歴を見てSOAPや薬の変更点から患者様の状態が変化していないかを確認するように心掛けるようになれたので、実習の後半では患者様の容体変化を考えられている前提での質問なども自然な流れで出来るようになったと思います。

健生病院に隣接している薬局ということで幅広く疾患に触れ、また薬局外での業務にも沢山参加することができ、非常に充実した実習でした。至らない点が多かったと思いますが、ご指導のほどありがとうございました。

# 新入職員紹介

ファルマ弘前薬局

松森（まつもり）　杏奈（あんな）

4月7日（月）よりファルマ弘前薬局にて勤務しております松森杏奈と申します。

前職は青森市の病院にて医療事務員としておりました。調剤事務の仕事は未経験で現在皆さんから様々なことを教えていただきながら頑張っています。少しでも早くたくさんのことを覚えて丁寧な仕事をしたいと思っています。至らない点も多いと思いますが向上心をもって頑張りますのでよろしくお願いします。

# 写真紹介

## 4/15　日本共産党青森県議団へ出前講座

4月15日（火）、日本共産党青森県議団主催の出前講座があり、「青森県国民健康保険運営方針（令和6年3月）と国の動向を検討する」をテーマに本部の高松相談役が講演しました。

こども子育て支援金の保険料への上乗せについて質問がありました

## 4/27　りんご広場集会とパレード

4月27日（日）、憲法9条守れ戦争法廃止！市民集会とパレードが弘前駅前りんご広場で開催されました。ファルマから2名の参加で、日本共産党の須藤えりか議員も参加されて一緒にアピールしました。

楽しく参加しました

## 4/28　ファルマ共済会通常総会

4月28日（月）、ファルマ弘前薬局を会場にZOOMで2025年度ファルマ共済会通常総会が開催され、2024年度事業活動報告や2025年度の事業活動計画などが原案通り可決されました。

採決中

## 5/10　黒石薬局健康教室

5月10日（土）黒石薬局健康教室が浅瀬石公民館で開催され、吉田薬剤師が講義をしました。テーマは「減塩について」で、16名の参加でした。塩分チェッカーでお味噌汁の塩分量の計測や骨密度測定、OTC商品の紹介などを行いました。

減塩についてお話ししました

## 5/10　津軽保健北支部へ出前講座

5月10日（土）津軽保健北支部主催の出前講座が開催され、「薬の正しい使い方」をテーマにファルマ弘前薬局の村上主任補佐が講義をしました。参加者は14名で、「処方された湿布を人に譲るのは駄目なのか?」「薬を飲み忘れた時どうしたらいいのか?」などの質問がありました。

多くの質問がありました

# 高校生のわたし

ファルマ弘前薬局　三上　心乃音

今までで一番青春していたなあと思える期間が16～18歳の高校3年間でした。特に楽しかったのが部活の時間です。小・中学校は運動部でしたが、高校では、小さいころに習っていた書道をもう一度やってみたいと思い、書道部に入りました。入部することになって知り合った、キャラの濃い同級生3人とはすぐに仲良くなって、部活中も放課後遊ぶときも常に笑って騒いでいるような学生生活でした。私の高校の書道部では、大会へ個人作品を応募する以外に書道パフォーマンスも行っていました。文化祭や新入生歓迎会などの学校の行事や、依頼をいただいたイベントのテーマに合わせて、構成を自分たちで一から決めていきます。パフォーマンスを考えて、仕上げていく時間は大変でしたが、楽しいこともありました。

年に1度、学校に寝泊まりする合宿です。個人作品や書道パフォーマンスの練習を詰めるための合宿で、カレーをみんなで作ったり、夜遅くまで布団の上でこそこそ話をしたり、誕生日が近かった部員へサプライズを仕掛けたり、とても思い出に残っています。

写真は中三の新年イベントで披露した時のものです。書道パフォーマンスの時に毎回着ていた袴も、かっこよくて好きでした。

かっこいい書道パフォーマンス